

## 放課後子供教室モデル実施の検証等について

## 1. 実施概要

項目	内容	
目的	石浜小学校に在籍する全児童を対象とした放課後対策の新たな事業を学校内でモデル実施し、同校のこどもクラブ待機児童解消を図るとともに、その実施結果を検証し、今後の放課後対策の方針案策定に役立てる。	
対象	石浜小学校に在籍する全児童	
場所	学校内の放課後に使用しない教室、ランチルーム、校庭、体育館等	
事業区分	A登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍児童であれば誰でも登録でき、無料で利用できる（※傷害保険料 年間 400 円）</li> <li>・定員の設定はなし</li> <li>・実施日時 学校登校日（月～金） 放課後～17 時</li> </ul>
	B登録	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍児童のうち、共働き家庭等の児童を対象とする</li> <li>・こどもクラブと同水準の保育内容、職員配置で実施</li> <li>・定員の設定はなし</li> <li>・実施日時 学校登校日（月～金）・・・放課後～19 時 学校休業日（土曜日及び夏休み等の長期休業期間） ・・・8 時～19 時</li> <li>・利用料 月 4,000 円、おやつ代 月 2,000 円</li> </ul>

## 2. 検証内容

## (1) 登録者数と延利用者数

石浜小学校全児童の63%にあたる147人が、A登録あるいはB登録に登録している。1日の平均利用者数は、放課後子供教室に当たるA登録が51人、こどもクラブと同水準のB登録が16人となっている。A登録の1日の利用者数は平成20年に事業開始した千束小学校放課後子供教室の1年目の利用者数と同程度である。

(千束小学校放課後子供教室の1日平均利用者数・・・平成20年50人、28年102人)

## 【登録数と利用者数】

年度	全児童数	登録数		登録率	実施日数	延利用者数	1日平均
28	234人	A登録	94人	40%	141日	7,241人	51人
		B登録	53人	23%	221日	3,546人	16人

【学年別登録数内訳】

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
A登録	9人	15人	16人	19人	25人	10人	94人
B登録	15人	8人	8人	17人	5人	0人	53人

※登録数は平成28年4月末現在。利用者数は平成28年4月～12月までの実績

(2) 石浜小学校児童のこどもクラブ待機児童数

同校児童のこどもクラブ待機児童数は、26年度3人、27年度11人（小学校全19校中で最も多い）という状況であったが、28年度については、放課後子供教室モデル実施により0人となり、モデル実施の目的の1つである石浜小学校児童のこどもクラブ待機児童解消に沿う結果となっている。

(3) 利用者満足度（アンケート結果）

平成28年10月～11月に利用者（保護者と児童）アンケートを実施し、その結果によると、満足度は過半数を超えている。

実施時期	登録 (配布数)		回答 人数	非常に 満足	満足	普通	不満	非常に 不満
平成28年 10月31日～ 11月11日 (10月現在の登録者152人に配布)	A (97人)	児童	47人	11	15	15	5	1
		保護者	50人	12	14	21	2	1
	B (55人)	児童	26人	5	9	4	8	0
		保護者	26人	6	9	5	5	1
	計	児童	73人	22%	33%	26%	18%	1%
		保護者	76人	24%	30%	34%	9%	3%

(4) 経費

石浜小学校放課後子供教室モデル実施の経費（委託料）は、千束小学校放課後子ども広場と比較すると、区の負担率が高くなっている。これは、千束小学校にはB登録に相当する事業が放課後児童健全育成事業に当たるこどもクラブであり、補助金額が多いためである。石浜小学校のB登録はこどもクラブではないため、定員を設けずにモデル実施を行ったが、効率的・効果的な運営の視点からB登録をこどもクラブに転換する検討を行う必要がある。

【石浜小と千束小の経費比較】

単位：千円

	28年度予算（運営委託料）			
	事業費	都・国補助金	区の負担額	区負担率
石浜小学校放課後子供教室 (A登録+B登録)	27,817	3,680	24,137	86.8%
千束小学校放課後子ども広場 (放課後子供教室+こどもクラブ)	25,593	10,826	14,716	57.5%

## (5) 運営検討委員会

学校長、PTA会長、コーディネーター、運営事業者、施設職員、区職員等からなる運営検討委員会を設置した。毎月開催して情報や課題の共有をおこない、運営改善を図っている。

## 3. 今後の課題

学校やPTA、地域の理解と協力を得て、保護者や児童から概ね良好な評価を受けているが、より安全で安心な受け入れ体制及びより多くの児童が満足を感じる魅力的なプログラムを取り入れていく必要がある。

今後の課題	主な具体的な取り組み
保育内容の見直し	職員間交流・見守り体制の工夫、児童の情報共有の徹底など
プログラムの見直し	アンケート結果による見直し
職員のスキルアップ	研修への参加、職場内研修の実施
学校・地域・PTAとの連携	定期的な検討会の実施、地域行事への参加等
モデル事業の積極的PR	広報紙の活用、ホームページへの掲載

## 4. 今後の放課後対策の方針策定について

### (1) 策定の趣旨

児童福祉法改正により対象年齢が小学6年生まで拡大され、こどもクラブの入会希望は増加傾向にある。また、国では平成26年に、共働き家庭の「小1の壁」を打破するため、学校施設を積極的に活用した「放課後子ども総合プラン」を打ち出している。このような状況から、児童が安全・安心に過ごせる放課後の居場所づくりをさらに推進していく必要がある。

区民ニーズや国の動向、石浜小学校での放課後子供教室モデル実施の検証等を踏まえ、今後の放課後対策の方針を策定する。

### (2) 方針の位置付け

台東区次世代育成支援計画を踏まえ、こどもクラブ、放課後子供教室等の総合的な放課後対策事業について、今後の具体的な進め方を示すものとする。

### (3) 今後のスケジュール

平成29年	9月	子育て支援特別委員会「素案報告」
	12月	パブリックコメント
平成30年	2月	子育て支援特別委員会「最終案報告」
	3月	方針策定